

数学ガッテン!! プリント

今日のガッテン度



正の数・負の数 B

組

番

名前

基礎と活用

1 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) A市の1月15日の最低気温は -3°C 、最高気温は 6°C でした。A市の最高気温と最低気温の差を次の手順で求めなさい。

手順① 数直線上に -3 、 $+6$ を表す点を示しなさい。

手順② 最高気温と最低気温の差を求める式をつくり、答えを求めなさい。

(2) 海面の高さを基準の 0m とすると、伊吹山の高さは 1377m 、琵琶湖の最深部は -18m と表すことができます。伊吹山の高さと琵琶湖の最深部の差は何 m ありますか。求めなさい。

(3) $5 \times (-3)^2$ の計算で、 $(-3)^2$ の部分はどのように計算しますか。

下の**ア**から**オ**までのの中から正しいものを1つ選び○をつけなさい。

ア $(-3) \times (-3)$

イ $-(3 \times 3)$

ウ $-(3 \times 2)$

エ $+(3 \times 3)$

オ $+(3 \times 2)$

(4) a と b が整数のとき、下の**ア**から**エ**までの計算のうち、計算の結果が整数にならないことがあるものはどれですか。正しいものを1つ選び○をつけなさい。(ただし、除法では、0でわる場合を除きます。) また、その例を1つあげなさい。

ア $a + b$

イ $a - b$

ウ $a \div b$

エ $a \times b$

例

2 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) ある学級では、大縄跳び大会に向けて、目標回数を35回に設定し、毎日練習しています。

下の表のAの段は、大会前の5日間で跳んだ回数を表しています。また、Bの段は、目標回数35回を基準にして、それより多い場合には正の数、少ない場合には負の数で、跳んだ回数を表しています。次の問いに答えなさい。

曜 日		月	火	水	木	金
A	跳んだ回数	33	36	35	37	39
B	35回を基準とした回数	-2	+1	0	+2	□

① 表の□に当てはまる数を求めなさい。

② 表のBの段をもとに、1日当たり跳んだ平均の回数を求める方法を説明しなさい。

③ ②をもとに平均の回数を求めなさい。

 回

(2) 2つの数の大小を比べる方法を**数直線**という言葉を使って説明しなさい。

数学ガッテン!! プリント

今日のガッテン度



正の数・負の数 B

組

番

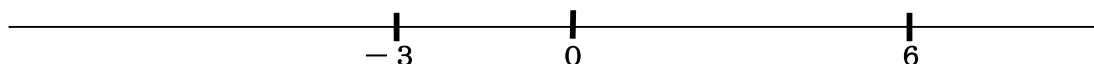
名前

基礎と活用

1 次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。

(1) A市の1月15日の最低気温は -3°C 、最高気温は 6°C でした。A市の最高気温と最低気温の差を次の手順で求めなさい。

手順① 数直線上に -3 、 $+6$ を表す点を示しなさい。



手順② 最高気温と最低気温の差を求める式を作り、答えを求めなさい。

$$\begin{aligned} & 6 - (-3) \\ & = 9 \end{aligned}$$

9°C

(2) 海面の高さを基準の 0 m とすると、伊吹山の高さは $1\,377\text{ m}$ 、琵琶湖の最深部は -18 m と表すことができます。伊吹山の高さと琵琶湖の最深部の差は何 m ありますか。求めなさい。

$1\,395\text{ m}$

(3) $5 \times (-3)^2$ の計算で、 $(-3)^2$ の部分はどのように計算しますか。

下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選び○をつけなさい。

- | | | |
|--|--|--------------------------|
| ア $(-3) \times (-3)$
エ $+ (3 \times 3)$ | イ $-(3 \times 3)$
オ $+(3 \times 2)$ | ウ $-(3 \times 2)$ |
|--|--|--------------------------|

(4) a と b が整数のとき、下のアからエまでの計算のうち、計算の結果が整数にならないことがあるものはどれですか。正しいものを1つ選び○をつけなさい。(ただし、除法では、0でわる場合を除きます。) また、その例を1つあげなさい。

ア $a + b$ イ $a - b$

ウ

 $a \div b$
エ $a \times b$

例 $2 \div 3$

2 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) ある学級では、大縄跳び大会に向けて、目標回数を35回に設定し、毎日練習しています。

下の表のAの段は、大会前の5日間で跳んだ回数を表しています。また、Bの段は、目標回数35回を基準にして、それより多い場合には正の数、少ない場合には負の数で、跳んだ回数を表しています。次の問いに答えなさい。

曜 日		月	火	水	木	金
A	跳んだ回数	33	36	35	37	39
B	35回を基準とした回数	-2	+1	0	+2	□

① 表の□に当てはまる数を求めなさい。

+ 4

② 表のBの段をもとに、1日当たり跳んだ平均の回数を求める方法を説明しなさい。

**Bの段にある5つの数の合計を、5で割り、
基準の35をたす。**

③ ②をもとに平均の回数を求めなさい。

36回

(2) 2つの数の大小を比べる方法を**数直線**という言葉を使って説明しなさい。

**2つの数を数直線上に対応させて置いたとき、右にある数が
大きい。**